



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社ミツバ

上場取引所 東

コード番号 7280

URL <https://www.mitsuba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 日野 貞実

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 荻野 晃嗣

(TEL) 0277-52-0113

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	84,436	6.8	4,479	160.4	4,543	48.9	3,399	216.6
2024年3月期第1四半期	79,096	18.4	1,720	—	3,051	—	1,073	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 10,996百万円(△13.2%) 2024年3月期第1四半期 12,666百万円(35.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	75	82	64	41
2024年3月期第1四半期	20	66	12	67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	350,499	122,377	28.7
2024年3月期	357,492	122,581	28.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 100,637百万円 2024年3月期 101,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2024年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 6.00
2025年 3 月期	—				
2025年 3 月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	170,000	2.4	8,500	21.8	7,500	△12.1	4,500	△0.3	96.01
通期	345,000	0.2	18,500	△12.5	16,500	△26.2	11,000	△19.9	232.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社ミツバロジスティクス

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	45,581,809株	2024年3月期	45,581,809株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	826,041株	2024年3月期	826,041株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	44,755,768株	2024年3月期1Q	44,755,928株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年8月7日に当社ウェブサイトへ決算補足説明資料を掲載する予定です。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は、以下のとおりです。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年 3 月期	—	0.00	—	60,000.00	60,000.00
2025年 3 月期	—	—	—	—	—
2025年 3 月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 上記のA種種類株式の発行数は10,000株であります。なお、2024年 6 月28日に全株式を取得及び消却いたしました。

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
D種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年 3 月期	—	—	—	—	—
2025年 3 月期	—				
2025年 3 月期(予想)		0.00	—	2,959,726.03	2,959,726.03

(注) 上記のD種種類株式の発行数は200株であります。D種種類株式は、2024年 6 月28日に発行しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、減速懸念とインフレ高止まりという状況下で、ウクライナ情勢悪化や中国経済の更なる減速などの下振れリスクが依然として存在し、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する自動車業界では、世界的に電動化基調が継続する中、中国自動車メーカーの台頭により特に中国国内における生産体制見直しの動きが顕著となっております。

このような状況の下、当社グループにおいては、中期経営計画（2023年度-2027年度）の2年目がスタートし、重点施策である「モビリティ進化への対応」「経営基盤の強化」「財務体質の健全化」を、計画達成に向け推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、価格改善の推進とアジアエリアにおける二輪事業の販売好調に加え、円安に伴う為替影響により、連結売上高は844億36百万円（前年同期比6.8%増）となり、連結営業利益は44億79百万円（前年同期比160.4%増）となりました。また、連結経常利益は45億43百万円（前年同期比48.9%増）となり、子会社株式売却益など特別利益が4億64百万円発生したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は、33億99百万円（前年同期比216.6%増）となりました。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりです。

輸送用機器関連事業は、前述のとおり、売上高は798億85百万円（前年同期比7.0%増）となり、41億71百万円のセグメント利益（前年同期比251.6%増）となりました。

情報サービス事業は、警察向けのシステム販売、学校向けのICT機器販売や車載系組込ソフトウェア開発支援業務、製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービスなどが堅調に推移したことから、売上高は39億23百万円（前年同期比1.3%増）と前年同期比で増加いたしました。材料費及び人件費の増加や、新規稼働したデータセンターの減価償却費の増加等により、セグメント利益は1億54百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

その他事業は、主に用品販売事業の売上増加により、売上高は14億2百万円（前年同期比9.8%増）となり、セグメント利益は1億46百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産・負債・純資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,504億99百万円（前連結会計年度末は3,574億92百万円）となり、69億93百万円減少しました。流動資産は2,150億15百万円となり59億66百万円減少し、固定資産は、1,354億83百万円となり10億27百万円減少しました。

流動資産の減少は、現金及び預金が48億41百万円減少したことが主な要因であり、固定資産の減少は、株式会社両毛システムズの新データセンター稼働開始等により建物及び構築物が34億36百万円増加し、建設仮勘定が47億41百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,281億22百万円（前連結会計年度末は2,349億11百万円）となり、67億88百万円減少しました。流動負債は1,287億79百万円となり397億96百万円減少し、固定負債は993億43百万円となり330億7百万円増加しました。

流動負債の減少は短期借入金が395億4百万円減少したことによるもので、固定負債の増加は長期借入金が318億33百万円増加したことによるものであり、これらは、金融機関への短期借入金返済及びシンジケートローン組成による短期借入金の長期借入金への借り換えが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は1,223億77百万円（前連結会計年度末は1,225億81百万円）となり、2億4百万円減少しました。これは、利益剰余金が25億31百万円、為替換算調整勘定が71億47百万円それぞれ増加した一方、A種種類株式及びC種種類株式の取得及び消却により資本剰余金が100億96百万円減少したことが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ45億38百万円減少し969億52百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、119億47百万円(前年同期は86億84百万円)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益49億31百万円、売上債権の減少31億71百万円及び棚卸資産の減少16億41百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、3億96百万円(前年同期は30億25百万円の支出)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が11億93百万円となった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が11億68百万円あったものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、199億45百万円(前年同期は19億28百万円)となりました。この主な要因は、自己株式の取得による支出200億96百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結業績と、為替をはじめとした足元の経営環境の不確実性を踏まえ、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期中間期及び通期連結業績予想を修正しております。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,245	97,403
受取手形、売掛金及び契約資産	51,146	50,937
商品及び製品	10,842	10,726
仕掛品	6,117	6,847
原材料及び貯蔵品	38,355	38,348
その他	12,309	10,788
貸倒引当金	△34	△36
流動資産合計	220,982	215,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	86,893	90,910
減価償却累計額	△55,207	△55,787
建物及び構築物（純額）	31,685	35,122
機械装置及び運搬具	187,275	193,792
減価償却累計額	△150,087	△156,460
機械装置及び運搬具（純額）	37,187	37,331
工具、器具及び備品	56,561	58,105
減価償却累計額	△51,525	△53,037
工具、器具及び備品（純額）	5,035	5,067
土地	8,141	7,764
リース資産	9,088	9,493
減価償却累計額	△4,981	△4,651
リース資産（純額）	4,107	4,841
建設仮勘定	8,137	3,396
有形固定資産合計	94,294	93,523
無形固定資産		
ソフトウェア	749	793
ソフトウェア仮勘定	35	36
その他	2,625	2,924
無形固定資産合計	3,410	3,754
投資その他の資産		
投資有価証券	18,298	17,439
長期貸付金	2,647	2,687
繰延税金資産	1,467	1,530
長期前払費用	1,582	1,541
退職給付に係る資産	14,000	14,197
その他	808	809
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	38,805	38,206
固定資産合計	136,510	135,483
資産合計	357,492	350,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,609	20,066
短期借入金	114,184	74,679
1年内償還予定の社債	15	15
未払金及び未払費用	15,103	15,460
未払法人税等	3,665	1,912
賞与引当金	4,311	5,969
役員賞与引当金	31	36
製品保証引当金	986	1,246
訴訟損失引当金	566	572
和解金等引当金	300	300
事業構造改善引当金	990	849
その他の引当金	190	127
その他	6,620	7,541
流動負債合計	168,575	128,779
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	48,866	80,700
長期末払金	1	1
繰延税金負債	7,802	7,766
退職給付に係る負債	3,447	3,731
その他	5,218	6,142
固定負債合計	66,335	99,343
負債合計	234,911	228,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,770	15,674
利益剰余金	45,241	47,772
自己株式	△603	△603
株主資本合計	75,407	67,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,296	3,643
為替換算調整勘定	23,157	30,304
退職給付に係る調整累計額	△1,223	△1,152
その他の包括利益累計額合計	26,230	32,794
非支配株主持分	20,943	21,739
純資産合計	122,581	122,377
負債純資産合計	357,492	350,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	79,096	84,436
売上原価	70,044	71,828
売上総利益	9,051	12,607
販売費及び一般管理費	7,331	8,127
営業利益	1,720	4,479
営業外収益		
受取利息	403	488
受取配当金	269	307
持分法による投資利益	126	163
為替差益	1,202	297
その他	279	424
営業外収益合計	2,281	1,681
営業外費用		
支払利息	569	594
株式交付費	—	215
支払手数料	4	534
その他	377	272
営業外費用合計	950	1,616
経常利益	3,051	4,543
特別利益		
固定資産売却益	2	34
子会社株式売却益	—	419
その他	1	10
特別利益合計	4	464
特別損失		
固定資産除却損	19	31
事業構造改善費用	—	15
その他	5	30
特別損失合計	25	77
税金等調整前四半期純利益	3,029	4,931
法人税等	1,478	1,214
四半期純利益	1,551	3,717
非支配株主に帰属する四半期純利益	477	317
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,073	3,399

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,551	3,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,742	△639
為替換算調整勘定	9,207	7,782
退職給付に係る調整額	104	69
持分法適用会社に対する持分相当額	60	67
その他の包括利益合計	11,114	7,279
四半期包括利益	12,666	10,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,429	9,964
非支配株主に係る四半期包括利益	1,237	1,032

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,029	4,931
減価償却費	4,028	4,016
受取利息及び受取配当金	△672	△795
支払利息	569	594
持分法による投資損益 (△は益)	△126	△163
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△32
売上債権の増減額 (△は増加)	2,701	3,171
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,115	1,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	793	△3,640
その他	△3,616	4,777
小計	9,822	14,499
利息及び配当金の受取額	711	806
利息の支払額	△487	△522
法人税等の支払額	△1,362	△2,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,684	11,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,838	△1,193
有形固定資産の売却による収入	25	148
投資有価証券の取得による支出	△16	△7
投資有価証券の売却による収入	37	2
貸付けによる支出	△387	△380
貸付金の回収による収入	353	363
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,168
その他	△201	294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,025	396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△19,847
長期借入れによる収入	635	32,102
長期借入金の返済による支出	△1,015	△21,267
株式の発行による収入	—	9,784
自己株式の取得による支出	△0	△20,096
配当金の支払額	△734	△868
非支配株主への配当金の支払額	△228	△236
セール・アンド・リースバックによる収入	32	1,173
その他	△616	△689
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,928	△19,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,007	3,062
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,738	△4,538
現金及び現金同等物の期首残高	74,301	101,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,039	96,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月28日付で、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第貳号投資事業有限責任組合が保有するA種種類株式10,000株及びC種種類株式5,000株を取得及び消却したことから、資本剰余金が200億96百万円減少いたしました。また、同日付で、株式会社日本政策投資銀行及び株式会社横浜銀行を割当先として、第三者割当の方法によりD種種類株式を発行したことから、資本金が50億円、資本準備金が50億円増加しましたが、同日付で会社法第447条第1項乃至第3項及び会社法第448条第1項乃至第3項の規定に基づき、資本金50億円、資本準備金50億円を減少させ、それぞれその全額をその他資本剰余金に振り替えましたことから、その他資本剰余金が100億円増加いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金は156億74百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当社は、2024年4月1日付で、当社の連結子会社でありました株式会社ミツバロジスティクスの全株式をニッコンホールディングス株式会社へ譲渡したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	74,517	3,487	1,090	79,096	—	79,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	124	386	186	697	△697	—
計	74,642	3,874	1,277	79,794	△697	79,096
セグメント利益	1,186	397	128	1,711	8	1,720

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	79,767	3,521	1,147	84,436	—	84,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117	401	255	774	△774	—
計	79,885	3,923	1,402	85,211	△774	84,436
セグメント利益	4,171	154	146	4,472	7	4,479

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業	
日本	19,286	3,487	1,090	23,865
米州	20,052	—	—	20,052
欧州	6,430	—	—	6,430
アジア	17,523	—	—	17,523
中国	11,224	—	—	11,224
顧客との契約から生じる収益	74,517	3,487	1,090	79,096
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	74,517	3,487	1,090	79,096

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業	
日本	19,749	3,521	1,147	24,418
米州	23,863	—	—	23,863
欧州	6,594	—	—	6,594
アジア	20,567	—	—	20,567
中国	8,992	—	—	8,992
顧客との契約から生じる収益	79,767	3,521	1,147	84,436
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	79,767	3,521	1,147	84,436